



土浦市・かすみがうら市の『共同施行』により都市の再生を目指す ～神立駅西口地区土地区画整理事業（公共施行）～

●地区の課題

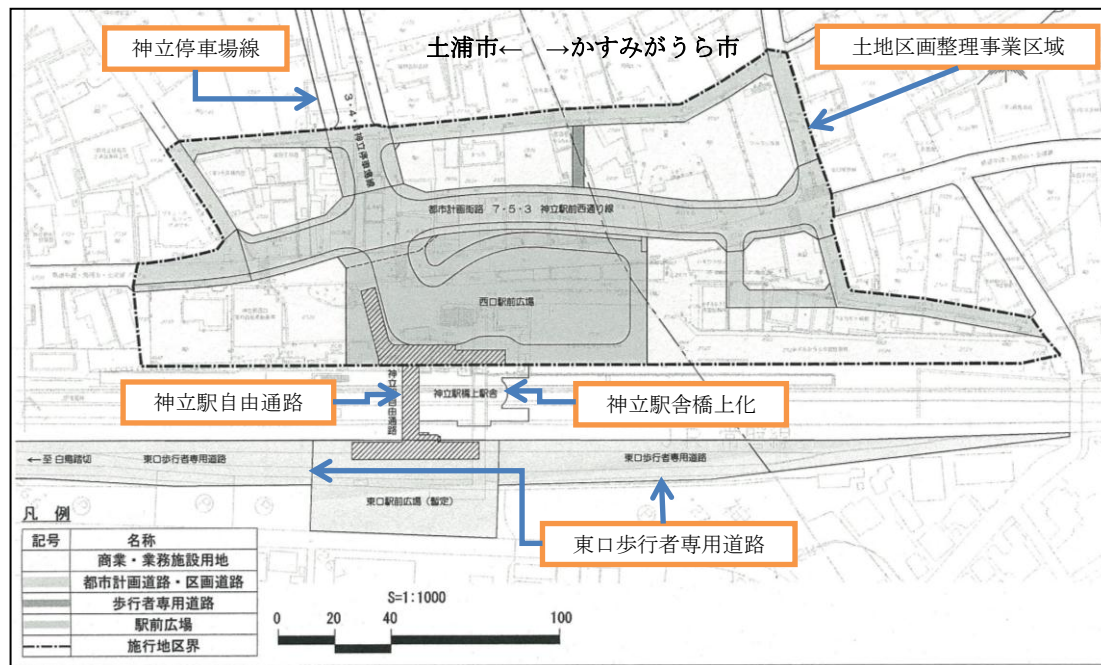
土浦市とかすみがうら市の市境に位置する神立駅周辺地区には、既成市街地が広がっています。

このうち駅西口においては現在、バスやタクシー、一般車などの乗り入れが錯綜していることやまちの顔としてのシンボル性・快適なたまり空間が欠如していること、商業施設の売上げの低下、施設の老朽化が進むなど、課題が顕在化しています。

●取り組み内容

こうした状況を受け、土浦市とかすみがうら市が協議を重ね、平成23年1月に「**土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合**」を立ち上げました。

この一部事務組合が主体となり、土地区画整理事業による駅前広場等の都市施設や宅地の整備を行うとともに、駅舎の橋上化等の関連工事を一体的に進めています。



●土地区画整理事業の概要

- ・地権者数 : 39名 (H27年4月時点)
- ・施行期間 : 平成24年～平成31年度
- ・総事業費 : 55.5億円
- ・施行面積 : 2.2ha
- ・平均減歩率 : 12.9% (減価買収前43.74%)

●関連事業の概要

- ・神立駅自由通路 / L=40m
- ・神立駅舎橋上化 / A=670㎡
- ・神立駅東口歩行者専用道路 / L=490m
- ・神立停車場線 / L=1,500m



整備前のまちの課題

①駅前周辺のまちの様子

まちを象徴する駅前としては寂しい状態。
古い建物が密集し防災上危険。



②駅前ロータリーの様子

大量の人と車が錯綜して危険。
送迎の車等で慢性的に混雑。



③神立駅前西通り線

歩行者等の通行スペースがなく危険。



④踏切(西口側より撮影)

踏切横断者があふれている。



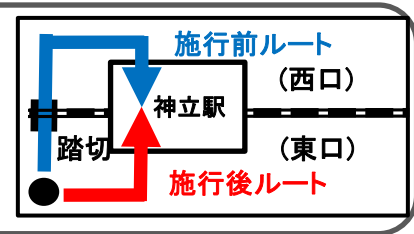
整備することによって得られる効果

①駅前周辺を街の顔にふさわしい、
にぎわいのある空間に！
安全、安心な空間に！

③両側に歩道を設置して安全性の確保！

②西口駅前広場の整備により、
乗降スペース等を確保し車両による混雑を緩和！

④自由通路・東口歩行者通路の
設置により、移動時間の短縮かつ
安全性の向上！



駅前にふさわしい魅力ある街づくり